

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災施設等整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	05	02
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	大津 真規			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	災害時に一時避難する避難所・避難場所に防災施設等を拡充する。
事業内容	都市再生整備計画に基づき、近隣公園以上の公園に、災害時に一時避難する被災者のための施設を順次整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	大規模地震等による災害発生時に、地域住民等の被害軽減及び応急復旧等の活動を遂行するための拠点とすることができる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	かまどベンチ設置数				2 基	↑↑↑	
②	太陽光照明設置数				2 基	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ○南流山中央公園（かまどベンチ：2基、太陽光照明：2基）		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,342,400	3,595,040				
事業費(b)(円)				2,276,640				
うち一般財源				912,640				
職員給与費(c)(円)			1,342,400	1,318,400				
人役・職員(人)			0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	災害時に一時避難する被災者のための施設を順次整備する。	③取組における課題(Check)	大規模改修に合わせて、避難所避難場所となる小学校等にマンホールトイレ等の防災施設等の整備が必要。
②H30に実施した取組(Do)	南流山中央公園に、かまどベンチ2基、太陽光照明2基を設置。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	まずは避難場所となる近隣公園に防災施設等を順次整備する。